

ひかり野

Saga University Library Bulletin

No.33

July.2009



目次 CONTENTS

平成20年度読書奨励企画活動報告 … 1

配架場所(図書)の変更…………… 1

医学分館内サインの見直し
(ユニバーサルデザイン化) …… 2

オリエンテーション…………… 2

図書館ウェブサイトリニューアルと
情報誌「さらり」創刊…………… 3

館内の施設整備…………… 4

「佐賀大学機関リポジトリ」の

学内説明会を開催…………… 5

新規導入データベースのお知らせ………… 5

リンクリゾルバ(Link Resolver)の

トライアル…………… 6

パソコンで読む佐賀新聞…………… 6

電子ジャーナル整備に関する

基本方針検討報告書…………… 7

貴重書庫の保存環境整備…………… 7

平成20年度図書館月間を開催 …… 8

貴重書の電子化…………… 9

県内公共図書館との協力…………… 10

受入資料紹介…………… 11

図書館統計…………… 13

人事異動…………… 17

図書館日誌(会議・研修・来客等) … 18



樹皮・羊皮紙・紙 / デジタル文書

附属図書館長 相澤 照明

レバノンのペイルート近郊にByblosという小さな町がある。図書館に関わっている人なら、「もしや」と思うはずである。ヨーロッパの言葉で図書館の呼称としては、二通りある。英語で図書館と言えばlibraryであり、bibliothecaと言えば蔵書・文庫・図書目録の意味であり、英語で言い換えると、“repository of books” (今日よく耳にするリポジトリ)となる。英語に対して独・西・伊・仏語はすべて、bibliothecaと同語源の単語が図書館を指している。libraryに対応するlibreria (西) やlibrairie (仏) は本屋のことである。レバノンの町Byblosは、実は、この図書館を意味するbibliotecaと関わっている。古代のByblosはパピルスの貿易港であり、byblosは、もともと「パピルスの内皮」を指していた。従って、biblioteca(西)の語源は、「パピルスの内皮」+「容器(teca)」である。では、libraryはどうかというと、樹木の内皮を指すラテン語のliberに由来するのであるから、西洋の言葉で図書館は、樹皮に起源があることになる。

次いで、本の歴史において重要な役割を演じたのは、羊皮紙による写本であった。羊皮紙と言っても、山羊や牛の皮もある。イタリアの美学者ウンベルト・エーコは、『薔薇の名前』という小説(映画)によって、アリストテレスの「笑いについて」がなぜ歴史から抹殺されてしまったのかを謎解きして見せたが、その中で、修道院の中の写本部屋の場面や、図書室が燃えてしまう場面は実に印象的であった。この羊皮紙を英語で言うとparchmentであるが、この単語も小アジアの都市Pergamonに由来する。

その後、中国からヨーロッパに紙がもたらされ、今日の出版文化の礎が築かれることになるが、こうした樹皮や動物の皮や紙が関わってきた文化が、大きく変わろうとしている。言うまでもなく、デジタル文書が、世の中で重要な役割を演じるようになったのである。

紙媒体とデジタル文書の違いについて考える時、かつてベンヤミンが複製芸術論の中で語ったことが思い起こされる。絵にあっては、オリジナルと画集は全く異なる。一見すると紙媒体もデジタル文書も内容に変化はないように思われるが、紙媒体には絵に似たような物質性があることは認めておかねばならない。例えば、大英図書館の展示室を歩くなら、羊皮紙に描かれた中世の写本の想像を絶した重厚感と美しさに感動を覚えざるをえない。本の装丁や紙質も含めて、本は多層的な存在の総体なのであって、デジタル化された文書は、コミュニケーションの層だけに還元された抽象的な文書にすぎないのである。

もちろん、デジタル文書の有用性を否定しているのではない。学生が大学図書館に来るのは、インターネットを使うためだけ、といった利用法が増えていることを懸念しているのである。それだけが図書館の役割となってしまう日が来ないためにも、学生の読書熱を刺激する多くの本を開架図書として揃え、図書館の明るい未来予想図を描きたいものである。

『ひかり野』no.33は、附属図書館が、学生の読書離れをくいとめ、地域に貢献するために行なってきたこの一年間の取り組みをより明瞭に示すために、新たな編集項目(学習支援・研究支援・地域貢献等)のもとに構成されている。



平成20年度読書奨励企画活動報告

読書奨励企画は平成18年度から行っていますが、学生選書ツアー等を通して、図書や選書に対する学生の関心の高さを知ることができ、また、学生の生の声を直接聞くことができるよい機会となっています。平成20年度も公募によって選出された学生選書委員13名により、1年間を通しての活動内容が計画されました。選書ツアーは8月7日に福岡市総合図書館を見学後、福岡市の丸善とジュンク堂で行い、9月22日には佐賀市の紀伊国屋書店でも行いました。他に佐賀大学生協での選書やオンライン選書も実施しました。選ばれた図書は207冊となり、学生選書委員会で審議の後、図書館にすでに所蔵があるものを除き全て購入され、本館、医学分館の特設コーナーに配架されています。ディスプレイも学生選書委員自身によってポップを作成し、楽しいものになっています。

みなさん、どうぞお立ち寄りください。



真剣に選書中!!



学生選書コーナー（本館）



学生選書コーナー（医学分館）

配架場所(図書)の変更

本館では、自学自習のスペースを整備する一環として、シラバス掲載図書と学科推薦図書の配架場所を変更しました。

これまでシラバス掲載図書の配架場所が目につきにくく、学科推薦図書用の書架が不足していた事を改善するために実施したものです。

図書の除籍や他の資料の配架場所を変更することによって、カウンター前にスペースを設け、書架を増設し、シラバス掲載図書と学科推薦図書集中配架し、利便性の向上を図りました。



シラバス掲載図書と学科推薦図書のコーナー

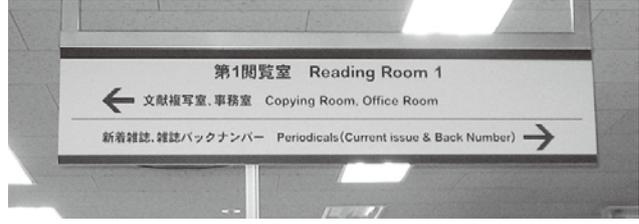
医学分館内サインの見直し(ユニバーサルデザイン化)

医学分館では、短期留学生を始めとする日本語に不慣れな利用者や、学外の方で始めて図書館を利用される方を支援するため、館内サイン(案内板)の見直しを行いました。サインには、日本語と英語を表記し、ピクトグラム(絵文字)を使用することで、誰にでもわかりやすいように工夫しました。

サインは、正面玄関入ってすぐの所に総合案内を設置し、各フロアの配架資料や部屋を示しました。また、主な動線上に天吊りや壁掛けサインを設置し、目的の資料にスムーズにたどり着けるように表示しました。各部屋の入口には、ピクトグラム(絵文字)を使用したピクトサインを設置し、使用目的が一目で認識できるようにしました。利用者の方に気持ちよく利用していただけるような図書館にしていきたいと思えます。



各部屋の入口にピクトサインを設置



主な動線上に天吊りサインを設置



各部屋の入口にピクトサインを設置



入口に総合案内を設置

オリエンテーション

附属図書館では、利用者が学習や研究を行う上で必要となる学術情報を活用できるように、毎年オリエンテーションを開催しています。平成20年度は下記のとおり実施しました。

今後も、内容等について精査を行い、利用者のニーズやレベル等に配慮し、より良いオリエンテーションを目指していきます。ぜひ、ご利用ください。

平成20年度実績

新入生を対象に図書館の使い方、蔵書検索システムの使い方を主としたオリエンテーション、また、学部3年生以上を対象に目録データベースや文献データベースの使い方、文献の入手法等について説明会を開催しました。

	新入生対象		学部生・院生対象		新任教職員対象	
学部	回数	人数	回数	人数	回数	人数
文化教育学部	11	172	6	34		
経済学部	13	265	2	27		
理工学部	8	444	2	112		
農学部	4	150	2	15		
医学部	4	155	5	259	1	60
計	40	1,186	17	447	1	60

・平成19年度以前の実績:14ページ グラフ参照

図書館ウェブサイトリニューアルと情報誌「さらり」創刊

平成20年4月、図書館ウェブサイトを全面的にリニューアルしました。

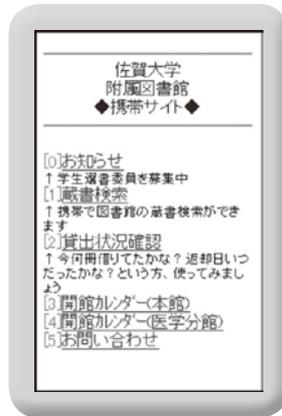
次の点に留意し、利用者がより使いやすいサイトを目指しました。

- ・利用者が求める情報へスムーズにアクセスできるようなページ構成
- ・CSS(Cascading Style Sheets)を使ってページデザインを統一・サイト管理を容易に
- ・本館と医学分館のウェブサイト統合により情報発信を一本化

コンテンツも、研究・教育活動に有用な検索ツール、データベース、電子リソース、図書館の利用方法、最新ニュースなど、多くの情報を充実させています。



佐賀大学附属図書館ウェブサイト
<http://www.lib.saga-u.ac.jp/>

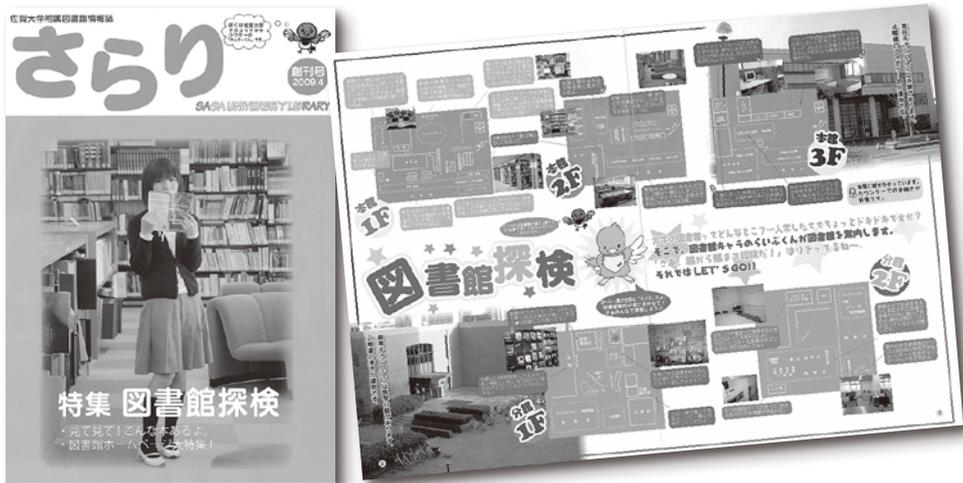


携帯サイト
<http://opac.lib.saga-u.ac.jp/nbp/>

また、これまでの館報「ひかり野」の内容から学生向けの情報を独立させ、それに特化した新しい情報誌「さらり」を創刊しました。創刊号のテーマ「図書館探検」では、館内案内・おすすめ本の紹介・Webページの利用方法を掲載し、併せて写真を多く取り入れ、デザインも明るくポップな雰囲気仕上げるなど、視覚的にも学生を惹きつける誌面作りを心がけました。

「ひかり野」もデザインを一新し、従来の役割であった図書館活動の報告や記録という面をさらに充実させました。

今後も広報に力を入れ、図書館のPRに努めていきます。



佐賀大学附属図書館情報誌「さらり」

館内の施設整備

本館では、自学自習のスペースを整備する一環として、館内の整備改修等を実施しました。

イスやカーテン等の更新を行い、清潔な明るい空間に生まれ変わりました。

また、エントランスホールのパソコン10台、入館ゲート、自動貸出返却装置等の更新を行いました。パソコンの更新によって、快適な環境でインターネットの閲覧ができるようになりました。さらに自動貸出返却装置の設置によって、貸出に加え返却、延長処理が可能となり、利便性の向上を図りました。

引き続き、館内整備や運用の見直し等を進めていきます。



インターネット専用PCコーナー



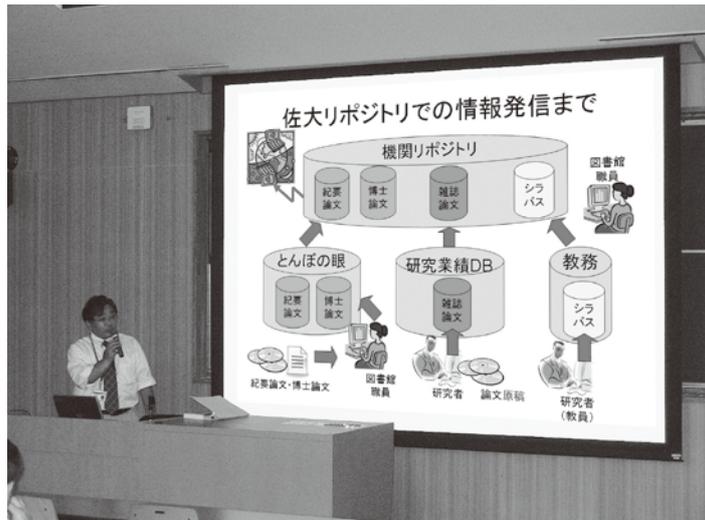
3階閲覧室



エントランスホール

「佐賀大学機関リポジトリ」の学内説明会を開催

「佐賀大学機関リポジトリ」は、佐賀大学における教育研究活動等の成果を収集・蓄積し、広く学内外に無償で公開するシステムです。平成20年10月29日に、本庄キャンパス及び鍋島キャンパスにおいて「佐賀大学機関リポジトリ」の説明会を開催しました。参加者はごくわずかでしたが、質疑応答では熱心なやりとりが行われました。佐賀大学における学術研究・教育活動の成果を公開する場としての「佐賀大学機関リポジトリ」を教員・大学院生へ周知するため、今後も継続して全体説明会、学部教授会、学部紀要編集委員会等への説明を行っていきたいと考えています。

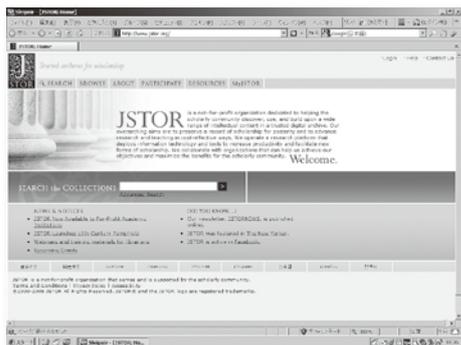


鍋島キャンパスでの説明会風景

新規導入データベースのお知らせ

平成20年度に2つのデータベースが新規に導入されました。理工学部数理科学科の予算による文献データベースJSTOR(Mathematics & Statistics Collection)、文化教育学部音楽科の予算による楽曲データベースNAXOS MUSIC LIBRARYです。いずれも図書館のホームページから利用できます。

NAXOS MUSIC LIBRARYは、図書館ポータルにログインしポータルのメニューから利用すれば、自宅からでも利用できます。通常はキャンパス内からのみ利用できるのですが、提供元とREFERER認証というルールにより正規の利用者として認証され、利用が可能となっています。これにより、学生は先生方が用意されたプレイリストに登録されている楽曲を自宅でも聴くことができるようになり、先生方から教育上非常に助かっているとの評価をいただいています。



JSTOR



NAXOS MUSIC LIBRARY

リンクリゾルバ(Link Resolver)のトライアル

平成21年3月から4月にかけて、リンクリゾルバSFXのトライアルを実施しました。リンクリゾルバとは、文献データベースの検索結果から文献入手のためのよりよいリンク先の選択肢を提供するWeb上の仕組みのことです。今回はSFXという製品を使用し、文献データベースにSCOPUS（トライアル）、CiNii、MEDLINE、EBM Reviews、Cinahl、医中誌WebなどのデータベースやGoogleScholar、リンク先に本学のパッケージ契約電子ジャーナルであるScienceDirect、LINK、Interscience、LWW等の電子ジャーナル、リンクリゾルバで管理されている1万タイトル以上の無料電子ジャーナル、佐賀大学OPAC、WEBCATPLUS、佐賀大学ILL依頼システム等を設定して実施しました。



SFX中間窓



SFX電子ジャーナルリスト

トライアル期間中に、文献データベースからリンクリゾルバへのリクエストが3,793件、リンクリゾルバから電子ジャーナル、OPAC等のサービスの利用が1,739件ありました。詳細な利用状況は以下のとおりです。

○ よく利用された文献データベースとフルテキストの入手率

種別	リクエスト件数	フルテキスト入手率
医中誌Web	1,835件	14%
CiNii	1,127件	31%
Scopus	380件	49%
Google Scholar	108件	51%
Journal@OVID	102件	64%

○ リンクリゾルバからよく利用されたサービス

ターゲット種別	リンク件数
佐賀大学-OPAC	551件
Webcat Plus	226件
ILL依頼	156件
CiNii	151件
ScienceDirect	143件

パソコンで読む佐賀新聞

佐賀新聞DVD版を購入しました。明治17年の創刊号から平成19年までの記事を図書館(本館)内の専用パソコンで見ることができます。日付検索の機能を持ち、紙面全体や個別の記事を表示、印刷することができます。学習や研究に是非、お役立てください。



パソコンで読む佐賀新聞トップページ



佐賀新聞紙面

電子ジャーナル整備に関する基本方針検討報告書

第2期中期目標・中期計画期間(平成22～27年度)中における本学の電子ジャーナル整備の基本方針について、附属図書館電子ジャーナル専門委員会では電子ジャーナルの購入及び経費(平成17年度から現在までは「学長裁量経費による全額負担」を認められている)7,000万円相当の負担方法について審議・検討しました。また、アンケート調査を実施し学内の意向を伺うとともに、出版社による価格設定等の説明会、他大学における導入状況及び経費負担の状況等を調査・検証し報告書(<http://www.lib.saga-u.ac.jp/library/iinkaihoukoku.php>)にまとめました。

要旨は、「平成22年度については、ElsevierのScienceDirect, SpringerLINK, WileyのCore + Full Collection, Natureの4つのパッケージ型電子ジャーナルの購読が望まれる。/ 財源は、間接経費を含む中央経費負担を要望する。/ 契約形態は、電子ジャーナルオンリーとし冊子体は必要に応じて各部局での負担とすべきである。」とし、平成23～27年度については、予算額の減少に対応しつつ大学の中長期的な学術基盤戦略に沿った適切な電子ジャーナルの維持購読につとめる方向で、全学的な検討を継続して実施することとなりました。なお、電子ジャーナルの利用状況(15ページ グラフ参照)は、文系部局での利用は少ないものの、大学全体としては、平成19年度に13万件を超える利用があることから良好であるといえます。

貴重書庫の保存環境整備

平成18年度以降、書庫に空調機や遮光カーテン等を設置し、環境整備を進めてきました。平成20年度は、書庫の状態を確認するため、7月14日から10月10日の期間に、書庫内の温湿度の測定を実施しました。分析の結果、概ね良好な状態であることがわかりました。

また、8月には書庫内の防虫を目的として、専門業者による燻蒸処理を行いました。

資料保存の面では、小城鍋島文庫資料の保存のために桐製の保管箱を整備しました。

さらに、12月からは地域学歴史文化研究センターの教員によって市場直次郎コレクションの整理と保存の改善作業が行われています。教員の提案によって図書館職員がその作業を手伝いながら、資料の保存や取扱法等について指導を受ける機会をいただきました。

今後も引き続き、資料を後世に残していくために、貴重書庫の環境整備や資料の保存に努めていきます。



資料保存のために整備した桐製の保管箱

平成20年度図書館月間を開催

附属図書館では、地域に根ざした生涯学習の拠点としてサービスを提供するという目標のもと、毎年11月を図書館月間としてイベントを開催しています。今年は、「表現者としての女性たち—歴史・文学・芸術—」のテーマのもとに、講演会を6回と、附属図書館所蔵の貴重資料の特別展示を行いました。期間中、県内外の市民のみならず本学教職員や学生など、聴講者は延べ189名を数えました。

講演会では幅広い講師陣を迎えて、様々な時代・社会においてあらわれてくる文学作品や絵画、映画などの中に描写された女性像だけでなく、表現する側の女性たちの生き様にも焦点を当てる講演会になりました。また資料展示では、附属図書館所蔵の貴重資料(市場直次郎コレクション)の中から、女流歌人の歌を記した扇面や色紙など7点を展示することで、「表現者としての女性たち」の姿を実感を持って伝えることができました。全体を通して、生き生きとした女性像が浮かび上がってくる大変興味深いイベントとなりました。

附属図書館では今後も引き続き、地域に向けて幅広い生涯学習の機会を提供する拠点として、知的好奇心をより満足させるようなイベントを開催する予定です。この誌面をご覧の皆様も、興味を持たれたらぜひお気軽に附属図書館までお越し下さい。

講演会

会場：佐賀大学附属図書館会議室 4階

11月13日(木) 13:00～

「自己表現し始めた女性たち—ワイマール時代の女性像—」

元佐賀大学教授 田村 栄子 氏

11月13日(木) 14:30～

「映画にみる、世界史をさわがせた王女たち」

佐賀大学特任教授 西村 雄一郎 氏

11月17日(月) 13:00～

「王朝文学の系譜—うたう女・書く女—」

佐賀大学教授 今野 厚子 氏

11月17日(月) 14:30～

「<女性>と<表現>の力学—近現代文学の場から—」

熊本大学等非常勤講師 谷口 絹枝 氏

11月20日(木) 13:00～

「Art his-storyのなかの女性画家たち

—イタリア中世からバロックを中心として—

佐賀大学准教授 吉住 磨子 氏

11月20日(木) 14:30～

「オランダに渡った遊女」

多久古文書の村事務局長 細川 章 氏



講演する谷口氏



図書館月間ポスター

資料展示

～ みやびな女たち—市場直次郎コレクションにみる— ～

会場：佐賀大学附属図書館 1階エントランスホール

日時：11月17日(月)～11月21日(金)

貴重書の電子化

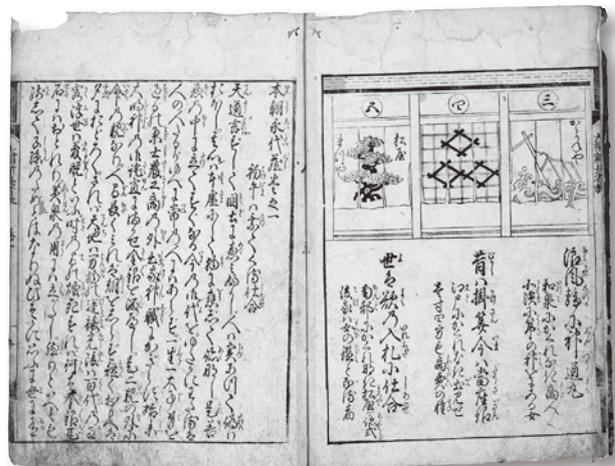
平成20年度は「市場直次郎コレクション」の典籍・短冊の部 文学・国文・小説に分類される以下の資料21点の電子化を行い、佐賀大学電子図書館「とんぼの眼」において公開しました。

区 分	点数	区 分	点数
古物語 附擬古物語	3点	近世小説(浮世草子)	8点
中世小説	2点	近世小説(読本)	6点
近世小説(仮名草子)	2点		

著名な「伊勢物語」や井原西鶴「日本永代蔵」、「好色五人女」も含まれています。ぜひ「とんぼの眼」貴重書コレクション <<http://www.dl.saga-u.ac.jp/OgiNabesima/>>でご鑑賞ください。



伊勢物語



日本永代蔵

県内公共図書館との協力

平成19年1月に「佐賀県公共図書館と佐賀県大学図書館間の相互貸借規程」が制定され、県内の公共図書館と大学図書館間の、相互貸借の申込手順や申込書の様式などが統一されました。

佐賀大学附属図書館は、この規程の有無にかかわらず、以前より公共図書館からの相互貸借のご依頼にはお応えしていましたが、規程が整備されたことにより、利用がわずかですが増加しました。貸出を依頼された図書は、様々な分野の日本語の専門書が中心ですが、洋書や史料集などもありました。

県内公共図書館への相互貸借貸出冊数(16ページ グラフ参照)

単位：冊

年 度	本 館	医学分館	計
H16	2	0	2
H17	15	4	19
H18	16	3	19
H19	55	3	58
H20	24	7	31

・県内公共図書館からの借用実績はなし

佐賀県は、インターネット上で「佐賀県内図書館横断検索システム」を提供しており、県内の14公共図書館と、佐賀大学を含む3大学図書館の蔵書が横断的に検索できるようになっています。このシステムも活用し、今後も多くの公共図書館の方々に佐賀大学の蔵書をご利用頂きたいと思えます。

受入資料紹介

学生用図書

平成19年度、平成20年度学生用図書費により、以下のとおり図書を購入しました(冊数はいずれも非図書資料の点数を含む)。

平成19年度	教員推薦図書	2,102冊	平成20年度	教員推薦図書	1,883冊
	学生希望図書	411冊		学生推薦図書	250冊
	図書館推薦図書	640冊		図書館推薦図書	1,268冊
	継続購入図書	696冊		継続購入図書	636冊

寄贈図書

○大学関係者著作図書

- ・元文化教育学部教授 田村栄子
[共著] ヴァイマル共和国の光芒：ナチズムと近代の相克 / 田村栄子, 星乃治彦 編 昭和堂
- ・経済学部教授 岩永忠康
[共著] 現代の流通と経済 / 田中富志雄 [ほか] 編著 創成社
- ・経済学部教授 宮島敬一
[単著] 浅井氏三代 (あさいしさんだい) / 宮島敬一 日本歴史学会編集.--(人物叢書 / 日本歴史学会編集, [通巻251]);: 新装版 吉川弘文館
- ・経済学部教授 ラタナーヤカ・ピヤダーサ
[共著] Mobilising money, people and resources for economic development / edited by W.D. Lakshman and Piyadasa Ratnayake Saga University
- ・経済学部教授 山下寿文
[共著] 中国における国際化への課題：経済、ビジネス、会計を考える / 山下寿文編集代表 中央経済社
- ・経済学部教授 米倉茂
[単著] ドル危機の封印：グリーンスパン / 米倉茂 イプシロン出版企画
- ・経済学部教授 米倉茂
[単著] 変幻進化する国際金融：サブプライム危機：膨張するドル体制の落とし穴 / 米倉茂 税務経理協会
- ・経済学部教授 米倉茂
[単著] サブプライムローンの真実：21世紀型金融危機の「罪と罰」 / 米倉茂 創成社
- ・産学官連携推進機構教授 佐藤三郎
[共著] 萬媛 / 梶田聡実文；寺田亜衣 [ほか] 絵 [出版者不明]

○その他

- ・文化教育学部教授 朱雀成子
Romeo and Juliet : texts and contexts / William Shakespeare ; edited by Dymphna Callaghan.-- (The Bedford Shakespeare series) Bedford
- ・経済学部准教授 宮崎卓郎
基本流通用語辞典 / 岩本俊彦 [ほか] 編集委員 白桃書房
- ・理工学部教授 豊島耕一
証言：ヒロシマ・ナガサキの声 / 長崎の証言の会編集;第22集(2008) 長崎の証言の会;1987-
- ・理工学部教授 渡孝則
ノリタケ100年史 / ノリタケ100年史編纂委員会編集 ノリタケカンパニーリミテド
- ・低平地研究センター准教授 山西博幸
Sediment and ecohydraulics : INTERCOH 2005 / edited by Tetsuya Kusuda ... [et al.].(Proceedings in marine science, 9) Elsevier

- ・朴明美

Korean and Japanese, studies on language and culture : journal of the International society for the comparative study of Korean and Japanese

= 日韓比較言語文化研究;1 国際日韓比較言語学会

- ・金子信二

佐賀読本 / 金子信二 出門堂

- ・峰松正輝

濱宿界隈の歴史：肥前國藤津郡：市井の輩の、足と古書の書留帳 / 峰松正輝 峰松正輝

- ・宮地武彦

吉野ヶ里の民話 / 河野貴徳, 宮地武彦編D-SQUARE

- ・永松亨

永松七郎助史料集：幕末維新 / 永松亨編 永松亨

- ・野中明

学校の勉強だけではメシは食えない! : 世界一の職人が教える「世渡り力」「仕事」「成功」の発想 / 岡野雅行
こう書房

岡野雅行人のやらないことをやれ! : 世界一の技術を誇る下町の金型プレス職人、その経営哲学と生き方
指南 / 岡野雅行 ぱる出版

- ・大石政隆

ペンを剣に代えて：特攻学徒兵海軍少尉大石政則日記 / 大石政則[著] ; 大石政隆編著 西日本新聞社

- ・坂本國繼

オアシス農業は愉し：「農生一路」の花実 / 坂本國繼 文芸社

- ・周偉

保険のない国から来た私がトップセールスになれた理由 / 周小異 徳間書店

- ・吉塚英助

Five-minute activities : a resource book of short activities / Penny Ur, Andrew Wright ; with illustrations by Andrew Wright.--(Cambridge handbooks for language teachers / general editor, Michael Swan)Cambridge Cambridge University Press

How to be a Brit : a Mikes minibus / George Mikes ; Nicolas Bentley drew the pictures
Harmondsworth Penguin Books

The heart of the matter / Graham Greene.--(Penguin books)

Harmondsworth:Penguin in association with Heinemann

An A to Z of British life / Adrian Room;; pbk Oxford [Oxfordshire]

Oxford University Press

Outline of American geography : regional landscapes of the United States

[S.I.]:Office of International Information Programs, U.S. Department of State

Outline of the U.S. economy [S.I.]:Office of International Information Programs, U.S. Department of State

Outline of U.S. history [S.I.]:Bureau of International Information

Programs, U.S. Department of State

Under the loving care of the fatherly leader : North Korea and the Kim dynasty

/ Bradley K. Martin.--(A Thomas Dunne book) Martin's Press

(敬称略)

図書館統計

◆基盤統計◆

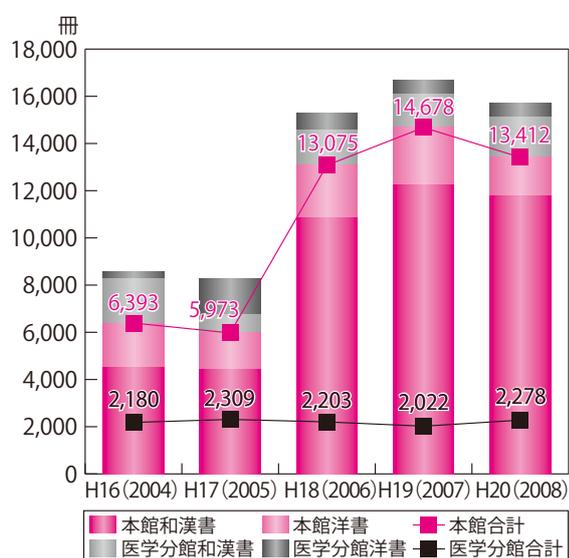
図書蔵書冊数 〈平成21 (2009)年3月31日現在〉(冊)

	和漢書	洋書	合計
本館	414,250	188,815	603,065
医学分館	61,814	44,043	105,857
合計	476,064	232,858	708,922

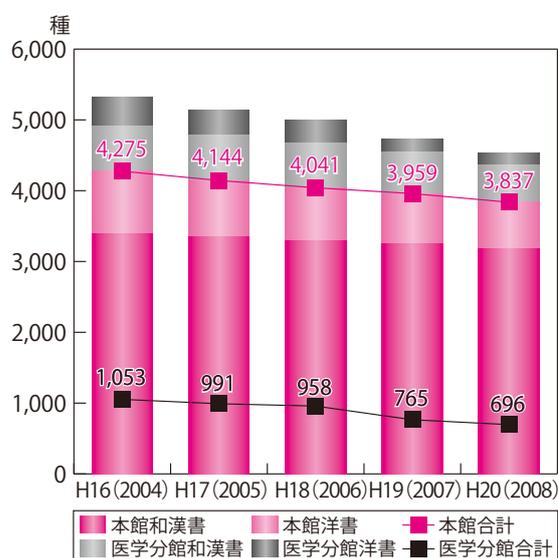
雑誌所蔵種類数 〈平成21 (2009)年3月31日現在〉(種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,477	2,956	9,433
医学分館	1,011	990	2,001
合計	7,488	3,946	11,434

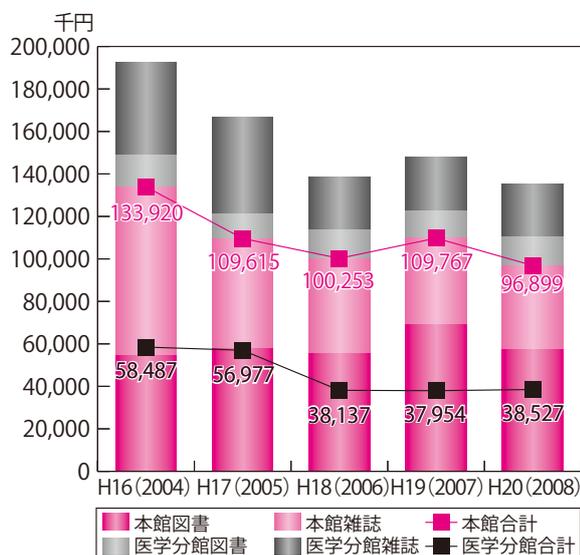
図書受入冊数



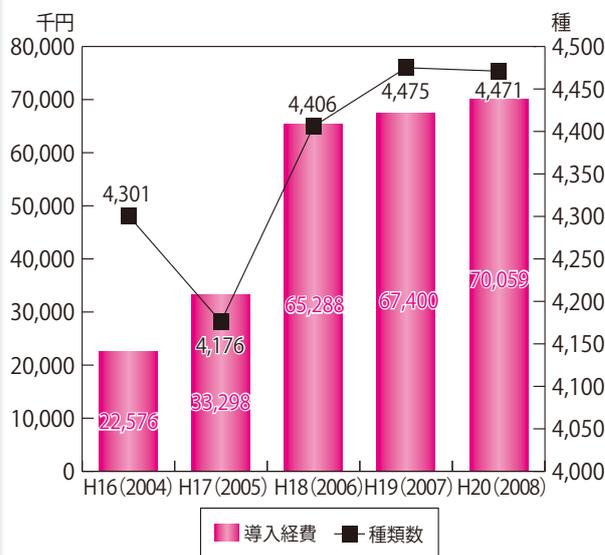
雑誌受入種類数(本館)



図書館資料費



電子ジャーナル導入経費と種類数



◆サービス統計◆

開館日数

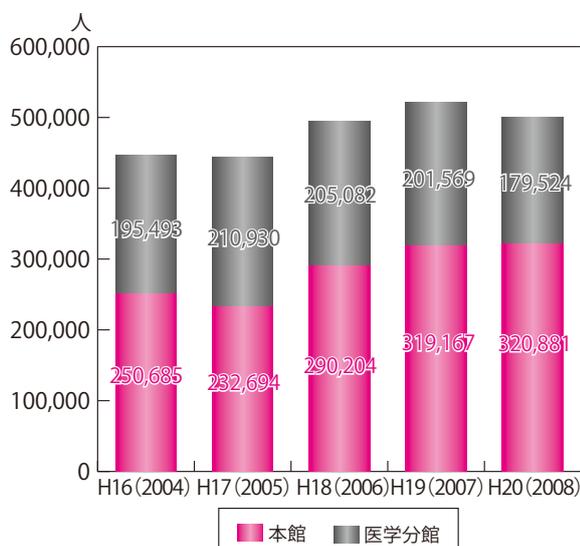
	本館	医学分館
平日	224	242
土・日・祝日	110	89
合計	334	331

(日) 利用対象者数

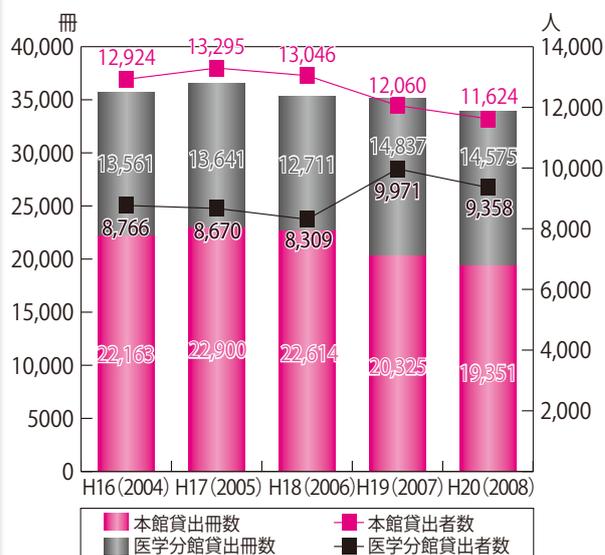
〈平成21 (2009)年5月1日現在〉(人)

	本館	医学分館	合計
学生	6,398	1,062	7,460
教職員	999	1,245	2,244
合計	7,397	2,307	9,704

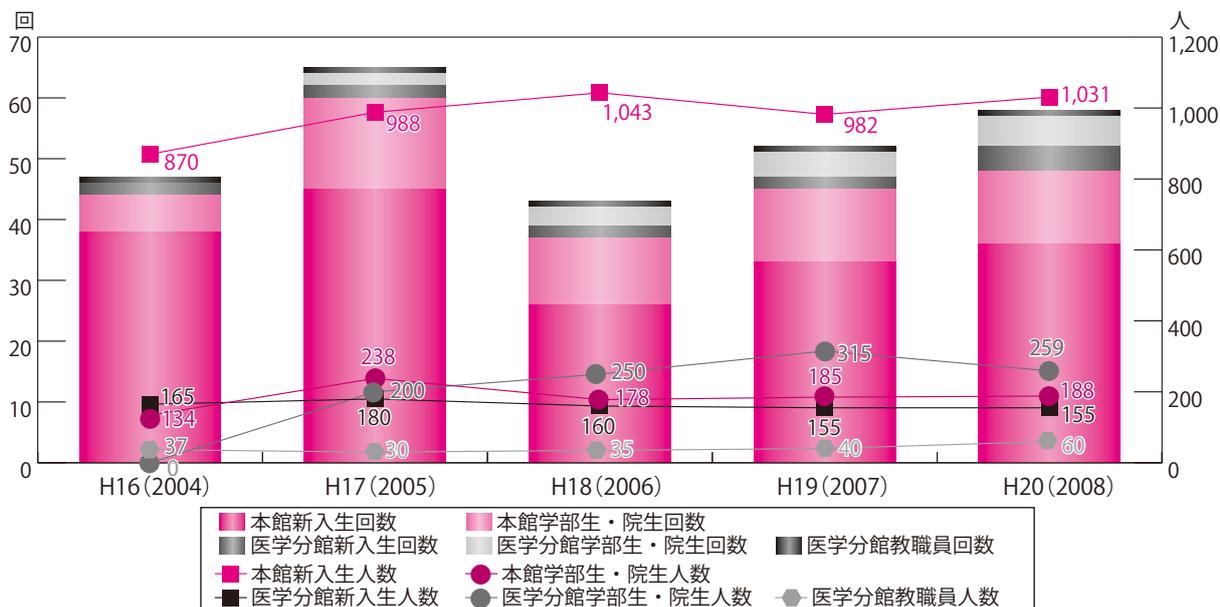
入館者数



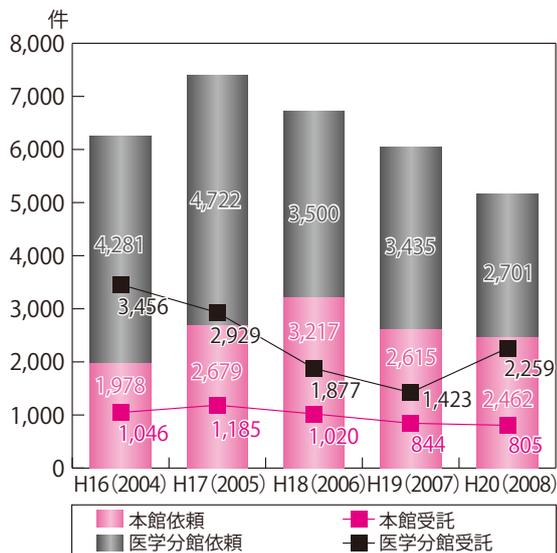
貸出冊数と貸出者数



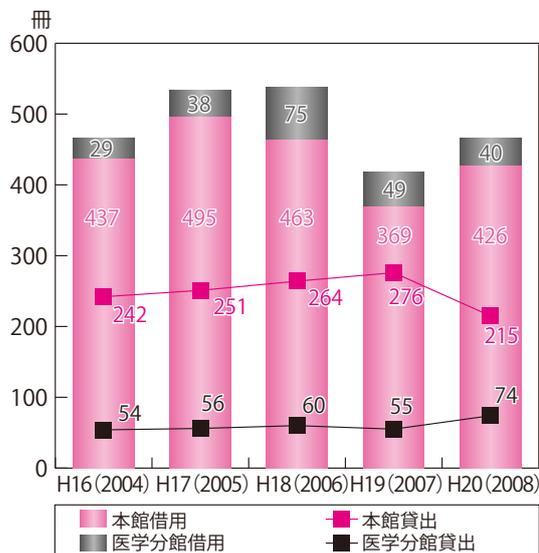
オリエンテーション



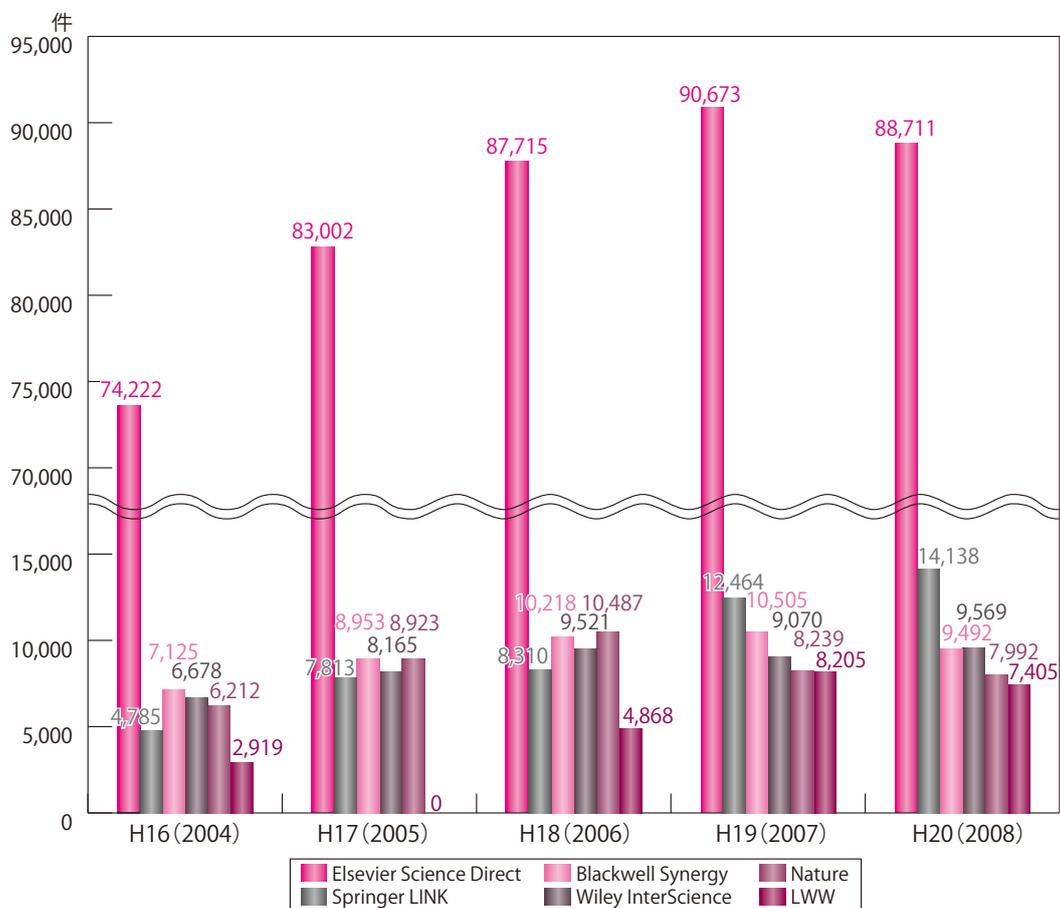
文献複写件数



相互貸借冊数

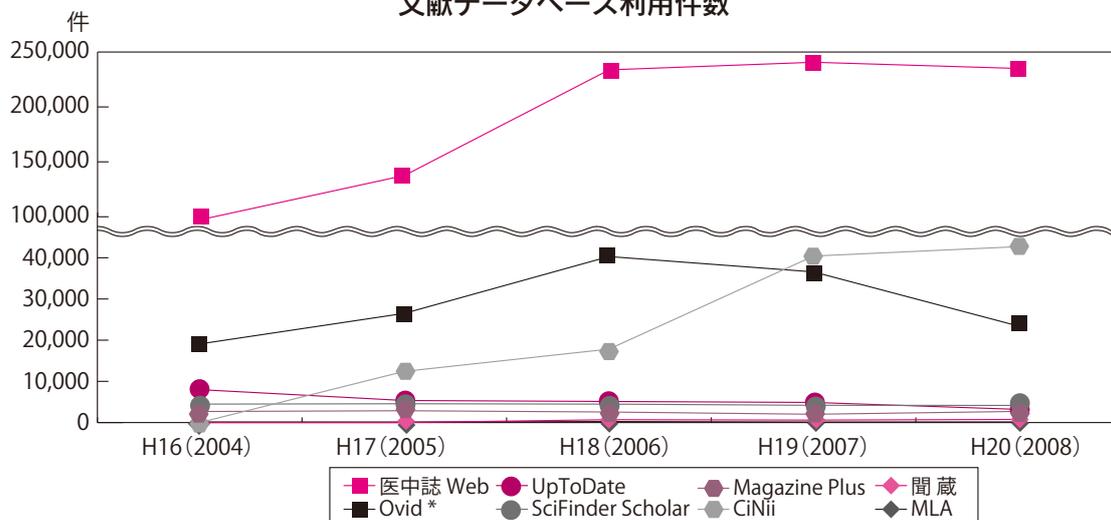


電子ジャーナル利用件数



・LWWはH17(2005)契約中止

文献データベース利用件数

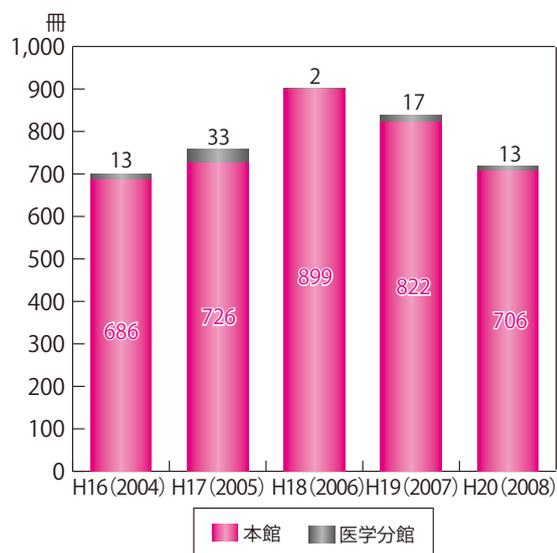


年度	CiNii	Magazine Plus	間蔵	日経テレコン	医中誌 Web	SciFinder Scholar	Inside Web	MLA	Ovid *	UpToDate
H16 (2004)	—	2,680	—	—	97,188	4,474	—	152	19,084	7,989
H17 (2005)	(12,422)	2,867	—	—	137,606	4,564	—	140	12,680 (26,507)	5,350
H18 (2006)	(17,820)	2,558	700	—	233,763	4,470	—	244	15,659 (40,298)	5,117
H19 (2007)	11,294 (40,421)	2,009	595	—	240,670	4,186	—	135	16,721 (36,578)	4,880
H20 (2008)	14,145 (42,702)	2,703	759	—	235,026	4,159	—	151	12,684 (23,447)	3,197

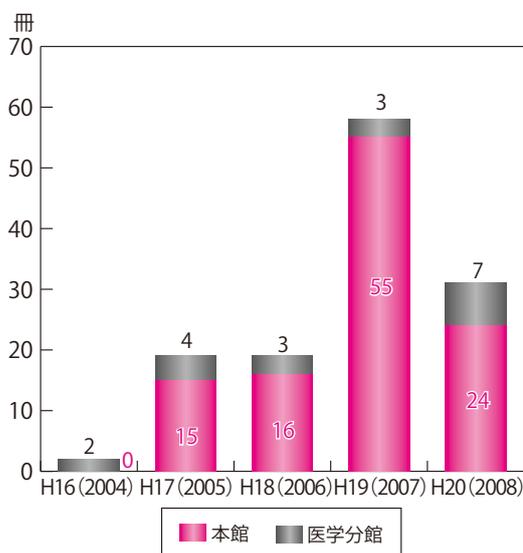
* 括弧内は検索回数

* 日経テレコン、Inside Webは統計データなし

一般市民への貸出冊数



県内公共図書館への相互貸借貸出冊数



人事異動

	発令年月日	氏名	新職名	旧職名
併任	20.4.1	相澤照明	附属図書館長	
併任	20.4.1	徳永藏	附属図書館副館長	
配置換	20.4.1	木村伸子	学術研究協力部情報図書館課副課長	学術研究協力部情報図書館課課長補佐
配置換	20.4.1	龍翼	学術研究協力部情報図書館課係長(総務主担当)	学術研究協力部情報図書館課総務系係長
配置換	20.4.1	三浦聡子	学術研究協力部情報図書館課係長(図書主担当)	学術研究協力部情報図書館課学術コンテンツ系係長
配置換	20.4.1	田中華子	学術研究協力部情報図書館課係長(雑誌主担当)	学術研究協力部情報図書館課学術コンテンツ系係長
配置換	20.4.1	福島正徳	学術研究協力部情報図書館課係長(電子情報主担当)	学術研究協力部情報図書館課利用サービス系係長
配置換	20.4.1	森暁子	学術研究協力部情報図書館課係長(利用サービス主担当)	学術研究協力部情報図書館課利用サービス系係長
配置換	20.4.1	浅岡宏信	学術研究協力部情報図書館課係長(医学分館主担当)	学術研究協力部情報図書館課医学利用サービス系係長
昇任	20.4.1	小林直樹	学術研究協力部情報図書館課主任	学術研究協力部情報図書館課事務員
採用	20.4.1	古賀由希子	学術研究協力部情報図書館課事務補佐員	
退職	21.3.31	馬渡安江		学術研究協力部情報図書館課臨時用務員

図書館日誌(会議・研修・来客等)

平成20年

- 4月17日 第38回九州地区国立大学図書館協会総会
(当番館：長崎大学附属図書館、於：ウェルシティ長崎)
- 4月18日 第59回九州地区大学図書館協議会総会
(当番館：長崎大学附属図書館、於：ウェルシティ長崎)
- 5月1日 シンポジウム 学術情報流通の改革を目指して
～電子ジャーナルが読めなくなる！？～
「於：東京大学」
- 5月19日 附属図書館貴重資料・地域貢献専門委員会(第1回)
「貴重資料の翻刻出版許可について」他
- 5月19日 資料保存講演会(書籍の修理と保存の技術)
「於：九州大学」
- 5月27日 附属図書館運営委員会(第1回)
「平成19年度決算及び平成20年度予算(案)について」他
- 5月29日 平成20年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
(理事館：福岡教育大学図書館)
- 6月11日 附属図書館評価専門委員会(第1回)(メール会議)
「平成19年度部局等自己点検・評価報告書について」
- 6月12日～13日 平成19年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)
「於：国立情報学研究所」
- 6月17日 附属図書館医学分館運営委員会(第1回)
「平成19年度資料費決算及び平成20年度資料費予算(案)について」他
- 6月24日 北部地区研究会目録講習会
「於：九州共立大学図書館」
- 6月25日～26日 第55回国立大学図書館協会総会
(当番館：東北大学附属図書館、於：仙台国際センター)
第4回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー
「於：仙台国際センター」
- 6月27日 附属図書館運営委員会(第2回)(メール会議)
「平成20年度(第1回)附属図書館評価専門委員会(メール会議)について(報告)」
- 7月8日 附属図書館選書専門委員会(第1回)
「本館学生用図書(学科推薦図書)の購入について」他
- 7月24日 平成20年度佐賀県大学図書館協議会総会
(当番館：佐賀短期大学)
- 7月30日 平成20年度学校図書館司書教諭講習等
～8月1日
- 8月7日 第1回学生選書ツアー
「於：福岡市 丸善、ジュンク堂 見学：福岡市総合図書館」
- 8月22日 附属図書館医学分館運営委員会(第2回)(メール会議)
「2009医学部共通外国雑誌の中止」

- 8月27日～28日 北部地区研究会目録講習会
「於：九州共立大学図書館」
- 9月5日 附属図書館電子ジャーナル専門委員会(第1回)
「電子ジャーナルの購入について—経緯と原状」
- 9月10日～12日 平成20年度図書館等職員著作権実務講習会
「於：九州大学附属図書館」
- 9月16日～17日 平成20年度佐賀大学リーダー研修
「於：菱の実会館多目的ホール」
- 9月19日 附属図書館評価専門委員会(第2回)(メール会議)
「平成19年度部局等自己点検・評価報告書について」
- 9月22日 第2回学生選書ツアー
「於：佐賀市 紀伊國屋書店」
- 9月22日～26日 職場体験学習受入
「佐賀市立芙蓉中学校2年生 1名(男子)」
- 9月25日 附属図書館医学分館運営委員会(第3回)(メール会議)
「医学部講読和雑誌の中止・継続及び新規の選定について」
- 9月29日 附属図書館運営委員会(第3回)(メール会議)
「平成20年度(第2回)附属図書館評価専門委員会(メール会議)について(報告)」
- 9月30日 平成20年度佐賀大学接遇・マナー研修
「於：菱の実会館多目的室」
- 10月7日 附属図書館電子ジャーナル専門委員会(第2回)
「平成20年度電子ジャーナルに関するアンケート(案)について」他
- 10月9日 第56回九州地区医学図書館協議会総会
(当番館：宮崎大学附属図書館)
- 10月15日 附属図書館貴重資料・地域貢献専門委員会(第2回)(メール会議)
「附属図書館所蔵の貴重資料の展示について」
- 10月16日～17日 平成20年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議
「於：長崎大学附属図書館」
- 10月20日～24日 平成20年度九州地区国立学校会計事務研修
「於：別府市(大分国際交流会館)」
- 10月22日～24日 平成20年度学術情報リテラシー教育担当者研修
「於：大阪大学」
- 10月23日 附属図書館運営委員会(第4回)(メール会議)
「平成20年度図書館月間について」他
- 10月23日 平成20年度第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会
「於：九州大谷短期大学」
- 10月30日 平成20年度ILLシステム講習会
「於：国立情報学研究所」
- 11月13日～21日 図書館月間講演会及び資料展示(資料展示期間：17日～21日)
「於：附属図書館4F会議室, 1Fエントランスホール」

講演会テーマ
「表現者としての女性たち－歴史・文学・藝術に表れた女性像－」
資料展示
「みやびな女たち－市場直次郎コレクションにみる－」

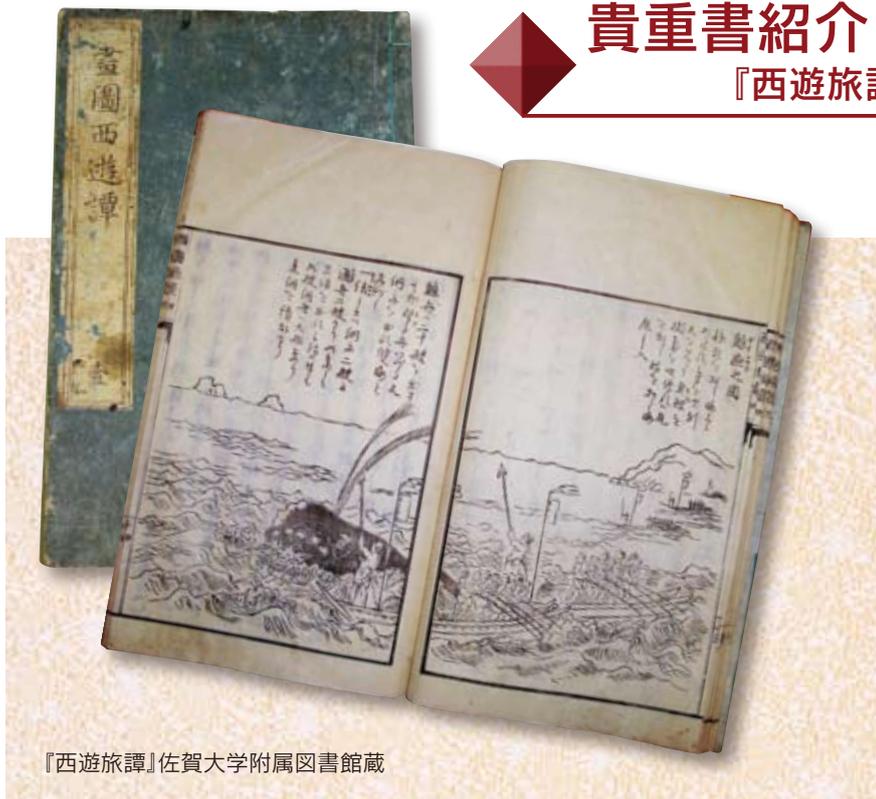
- 11月13日 附属図書館選書専門委員会(第2回)(メール会議)
「本館学生用図書(教員推薦図書)の購入について」
- 11月14日 第17回九州地区医学図書館員セミナー
「於：長崎大学医学部」
- 11月25日 附属図書館運営委員会(第5回)
「本館開館時間の延長について(案)」他
- 11月25日 附属図書館電子ジャーナル専門委員会(第3回)
「平成20年度電子ジャーナルアンケート結果報告について」他
- 11月26日～28日 第10回図書館総合展
「於：パシフィコ横浜」
- 11月27日～28日 第14回交通流のシミュレーションシンポジウム
「於：名古屋大学」
- 12月4日 平成20年度九州地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議
「於：九州大学附属図書館」
- 12月9日 附属図書館医学部分館運営委員会(第4回)(メール会議)
「附属図書館利用規程改正(案)について」他
- 12月16日 附属図書館電子ジャーナル専門委員会(第4回)
「平成22年度電子ジャーナル講読の財源について」他
- 12月17日～18日 資料保存セミナー：学術資料を後世に残すために
「於：九州大学附属図書館」
- 12月18日 附属図書館運営委員会(第6回)
「図書館利用規程の一部改正(案)について」他

平成21年

- 1月30日 附属図書館医学分館運営委員会(第5回)(メール会議)
「電子ブック(E-Book)の購入について」
- 2月10日 平成20年度第2回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会
「於：久留米大学」
- 2月24日 附属図書館医学分館運営委員会(第6回)(メール会議)
「学生希望図書選定について」
- 3月17日 附属図書館選書専門委員会(第3回)
「平成21年度附属図書館蔵書整備計画(案)について」他
- 3月19日 附属図書館運営委員会(第7回)(メール会議)
「所蔵図書の除籍について」
- 3月27日 附属図書館電子ジャーナル専門委員会(第5回)
「佐賀大学における電子ジャーナルの整備に関する基本方針検討報告書(案)について」 他

貴重書紹介

『西遊旅譚』（洋学資料コレクション）



『西遊旅譚』佐賀大学附属図書館蔵

解説

『西遊旅譚』は、洋画家で蘭学者司馬江漢(1747～1818)が書いた、天明8年(1788)4月から翌年4月までの長崎への旅記録。寛政6年(1794)刊行。佐賀、嬉野を通って長崎に至り、オランダ船や異国情緒に触れた江漢は、帰路、平戸の生月島で勇壮な捕鯨に出会う。捕鯨の勇壮さに感動した江漢は、鯨解体の様子なども詳細に描いている。当時、生月島は西日本でも最大級の捕鯨基地だった。

(地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸)

図書館キャラクター

らいぶくんとらりいちゃん 誕生

広報の一環として、図書館のマスコットキャラクターが生まれました。名前は「らいぶくん」と「らりいちゃん」です。

佐賀県の鳥“かちがらす(かささぎ)”をモチーフに、愛らしい表情と淡いカラーで親しみやすさをだしました。

初仕事として、新情報誌「さらり」での図書館探検の案内役を務めました。図書館広報のために飛び回っていますので、活躍にご注目ください。



らいぶくん

みんなよろしくね!



らりいちゃん